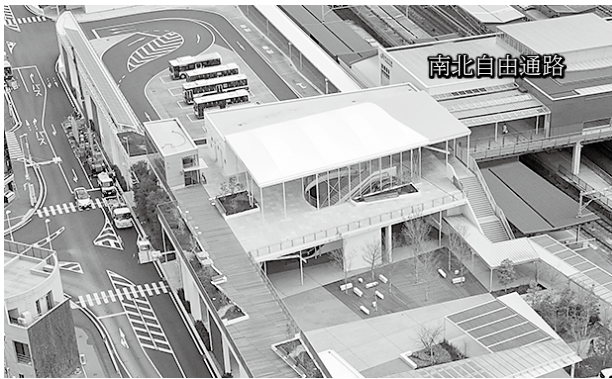


## JR新山口駅北口周辺整備

### 1. はじめに

山口市では、山口県央部を圏域とする「広域経済・交流圏」の形成等を通じた「広域県央中核都市づくり」を積極的に進めることで、県都としての求心力のある都市づくりを進め、圏域の経済活動を支えることとしている。とりわけ、広域的な求心力や拠点性を有している「山口」と「小郡」の市街地エリアを、それぞれ「山口都市核」と「小郡都市核」と位置付け、広域交流拠点の形成を図ることとし、広域交流拠点の形成とともに生み出される、好影響・好循環の対流型のまちづくりの実現により、圏域のさらなる価値創造や経済循環を図る持続可能なまちづくりを進めている。

そのうち小郡都市核では、JR新山口駅周辺のエリアにおいて、広域交通結節点である特性を向上させ、山口県の広域交流の拠点としての機能の充実・強化を図り、新たな産業交流機能の集積を促進するため、JR新山口駅を含めた周辺整備を行っている。



JR新山口駅北口

### 2. 広域交流の拠点としての機能の充実・強化

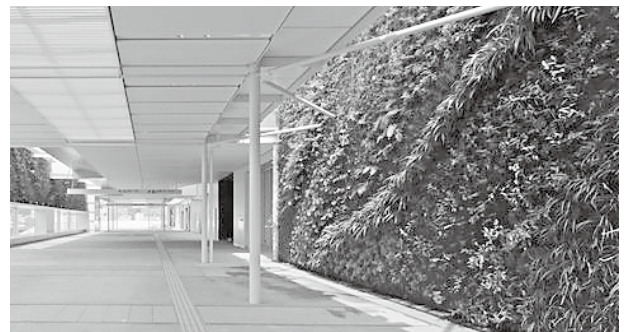
交通・交流機能の充実・強化を図るため、平成19年度に「新山口駅ターミナルパーク整備事業」を開始した。平成28年度には「垂直庭園」を施した新山口駅南北自由通路の供用を開始し、平成30年度には、約130mのデッキや民間事業者が運営するカフェスペースやサテライトスタジオが一体となった北口駅前広場等の供用を開始した。

また、令和3年7月には、県内一の2,000席の収容能力を誇るメインホールを有した「KDDI維新ホール」をはじめ、スポーツクラブを中心に、健康

寿命延伸を目指す施設「メディフィットラボ」や人材育成施設「アカデミーハウス」、産業交流スペース「Megriba」などの様々な機能で構成される産業交流拠点施設がグランドオープンし、新たなにぎわいを生み出している。

現在も山口県等と連携し、電線類地中化や道路美装化といった道路整備等を進めている。

これまでは、広域交流に主眼を置いたハード整備を進めてきたところであるが、これからは、「KDDI維新ホール」の活用により生み出される、新たなにぎわいや活力を、小郡都市核全体に波及させ、産業交流機能の集積を図るため、域内交通網の整備を進めることとしている。



南北自由通路「垂直庭園」



産業交流拠点施設「KDDI維新ホール」

### 3. おわりに

今後は、自動運転バスや小型モビリティ、シェアカー等の導入の促進による「山口」・「小郡」両都市核間のシームレスな移動が可能な一体感のある都市核づくりを進め、拠点施設で生み出される新たな人の流れを、山口都市核を始め本市全体に波及させる。

山口市 小郡総合支所 土木課 吉永 尚由